

# 桜島新設校の防犯対策 について

令和5年6月27日  
第11回整備検討委員会

# 目次

1. 目指す学校
2. 新設校の方向性
3. 防犯対策の他都市事例
4. 本市の防犯対策の状況
5. 新設校の防犯対策（ハード面）
6. 新設校の防犯対策（ソフト面）

# 1. 目指す学校

## 【地域の思い】

- ・ 地域とともにある学校づくり

## 【基本構想・基本設計】

- ・ 地域に開かれ、地域の核となる学校
- ・ 桜島をまるごと学び舎

## 2. 新設校の方向性

**多くの人のまなざしや気配で、子供たちの安心・安全が確保された学校を目指す。**

具体的には・・・

敷地内外の視認性を確保しつつ、学校部分の防犯性を高める計画とする。

### 3. 防犯対策の他都市事例

事例	立地
地域開放玄関付近に「人の目」を配置	群馬県_郊外
学校サポーターの常駐と地域防犯パトロール	東京都_都市部
フェンスと低木で外部からの視認性を確保	鹿児島県_郊外部
職員室を1階に移設し、透明ガラスを採用	福岡県_山間部
管理諸室及び職員コーナーからの見通しを確保	群馬県_郊外
防犯設備と警備による入館管理の徹底	北海道_都市部
敷地周囲の囲障の強化	大阪府_都市部
門の閉鎖と警備員の配置	富山県_都市部

(文部科学省HP\_「各学校等の防犯対策事例」より)

立地状況等に応じ、  
「閉じられた空間形成」や「人のまなざし」による対策など様々

## 4. 本市の防犯対策の状況

**敷地境界へのフェンス等の設置や門の管理、防犯訓練の実施など基本的な防犯対策は実施しているが、**

- ・ 植栽が生い茂っており、外部からの視認性が確保されていない学校もある。
- ・ 授業参観や県民週間などには、門を開放している。
- ・ 敷地内には校区公民館が設置されている学校が多く、日常的に地域の方が出入り。
- ・ 職員室が2階に配置されている学校もある。

**など、各学校の状況は様々である。**

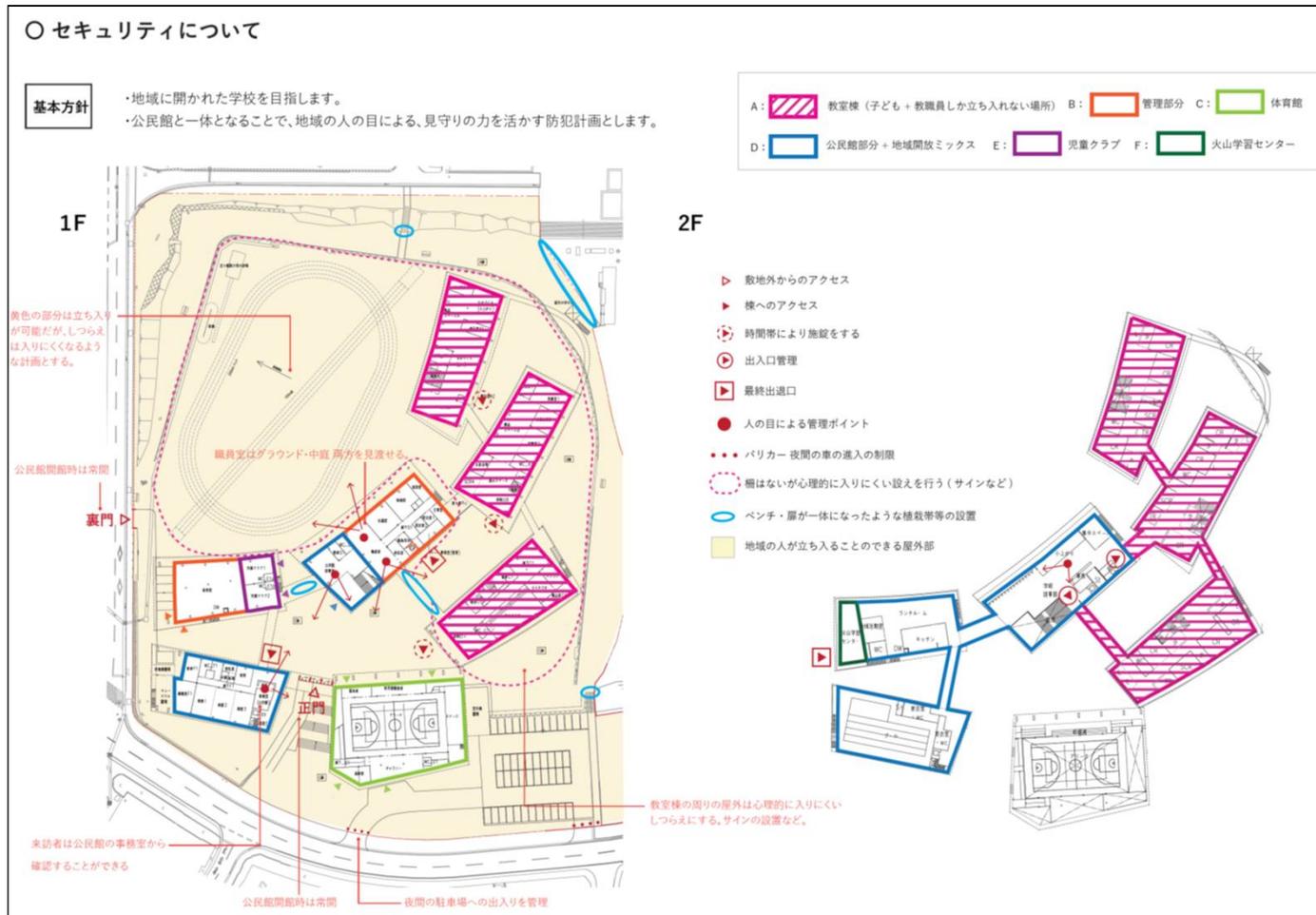
## 5. 新設校の防犯対策（ハード面）

### 対策

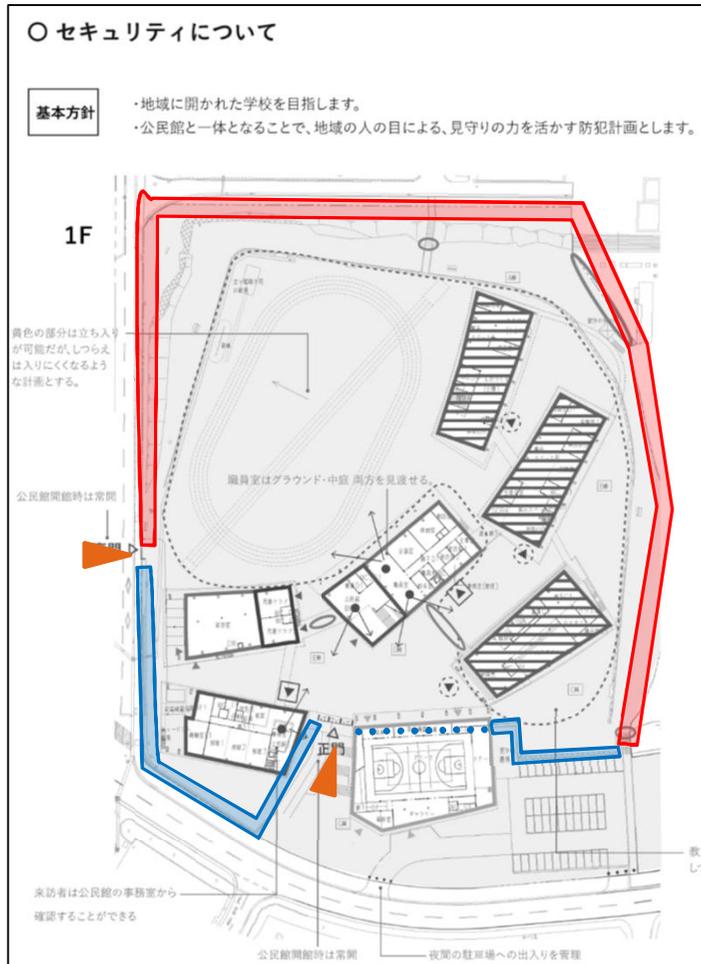
- ① 敷地外周部へのフェンス等の設置
- ② 受付窓口への誘導・利用者の把握
- ③ 職員室からの見通しの確保
- ④ ★教室棟入口へのティーチャールームの設置
- ⑤ ★死角箇所への防犯カメラの設置
- ⑥ ★教室からの避難経路を複数確保

★印：桜島新設校における特徴的な防犯対策

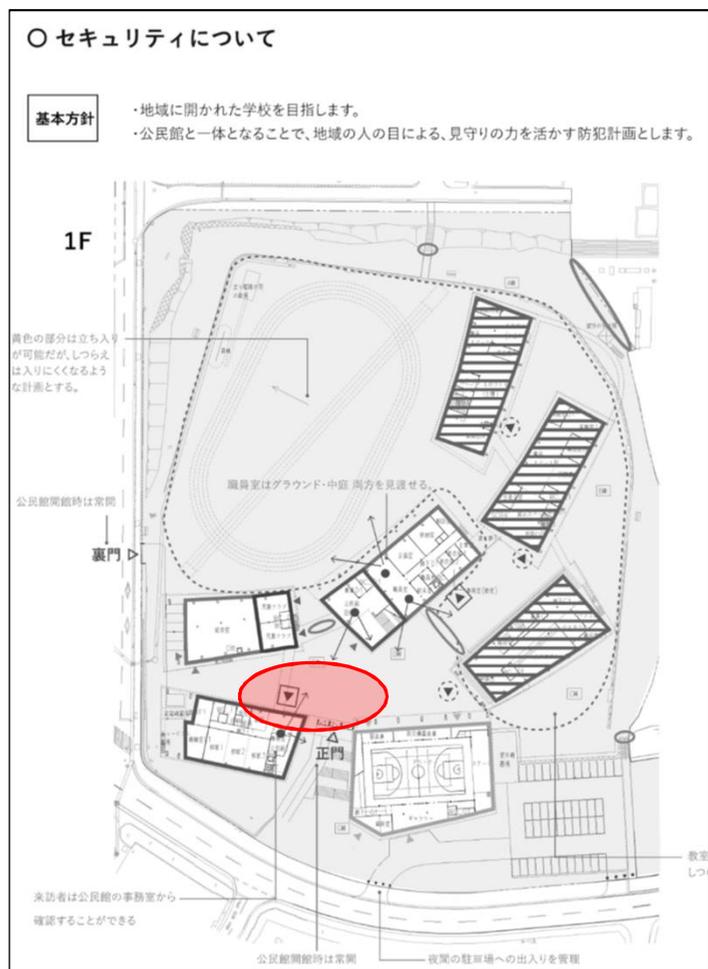
# 基本設計 (別紙 1 参照)



# 敷地外周部へのフェンス等の設置



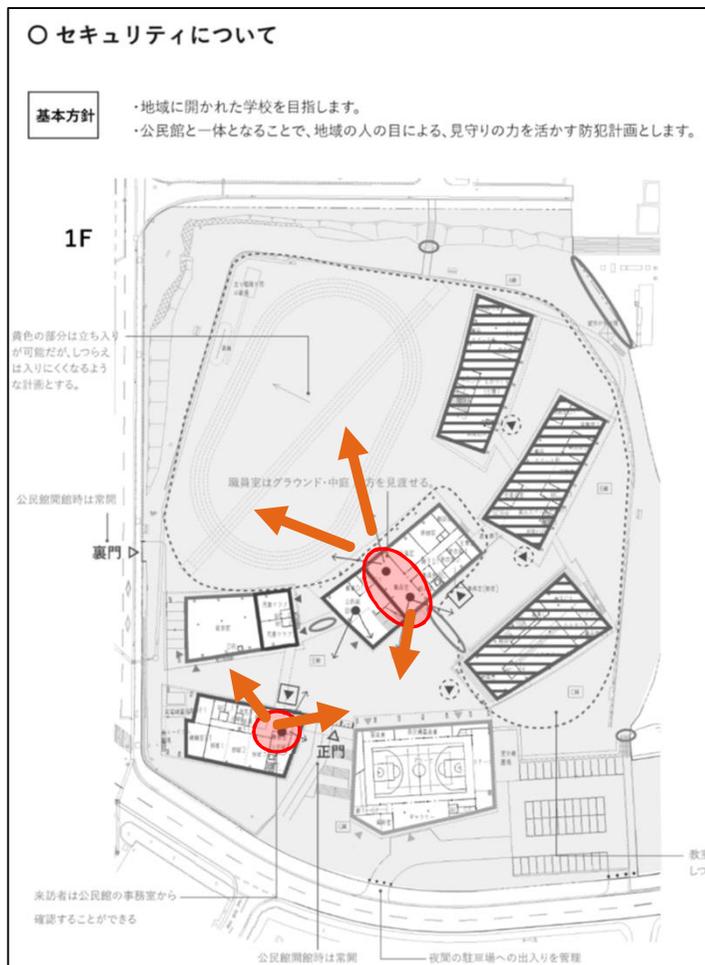
# 受付窓口への誘導・来訪者の把握



- ・来訪者が必ず受付場所（公民館、学校事務室）へ立ち寄るよう外構での工夫、及び案内図やサインを掲示します。
- ・受付簿などを利用し、来訪者の把握を行います。



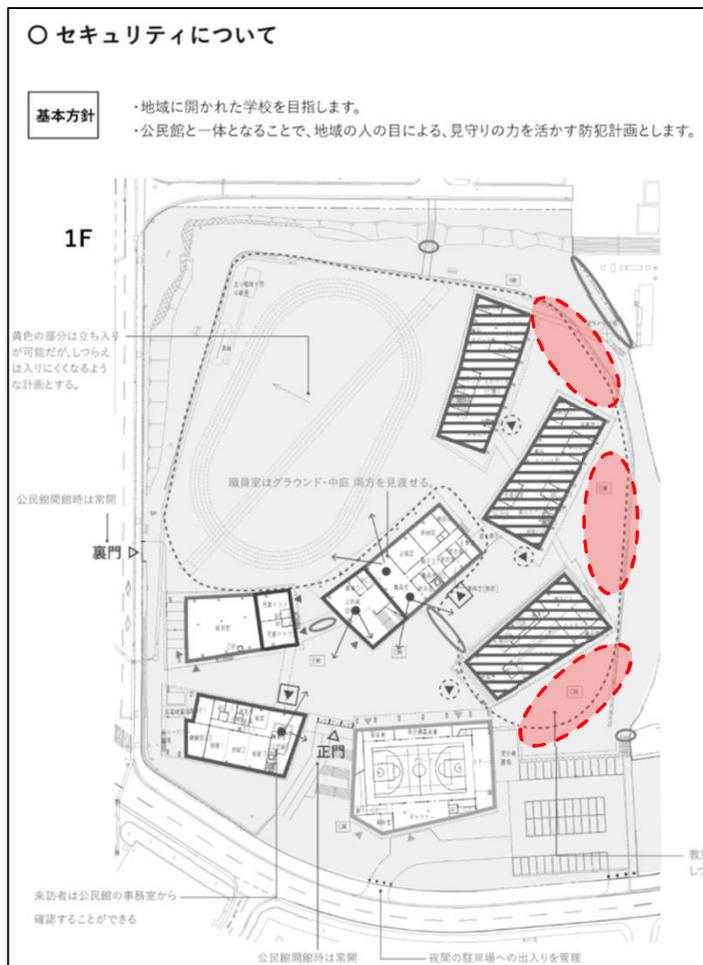
# 公民館や職員室からの見通しの確保



- ・ 公民館は来訪者を容易に確認できるように、入口に配置します。
- ・ 職員室は、中央広場・校庭を見通せる位置に配置します。

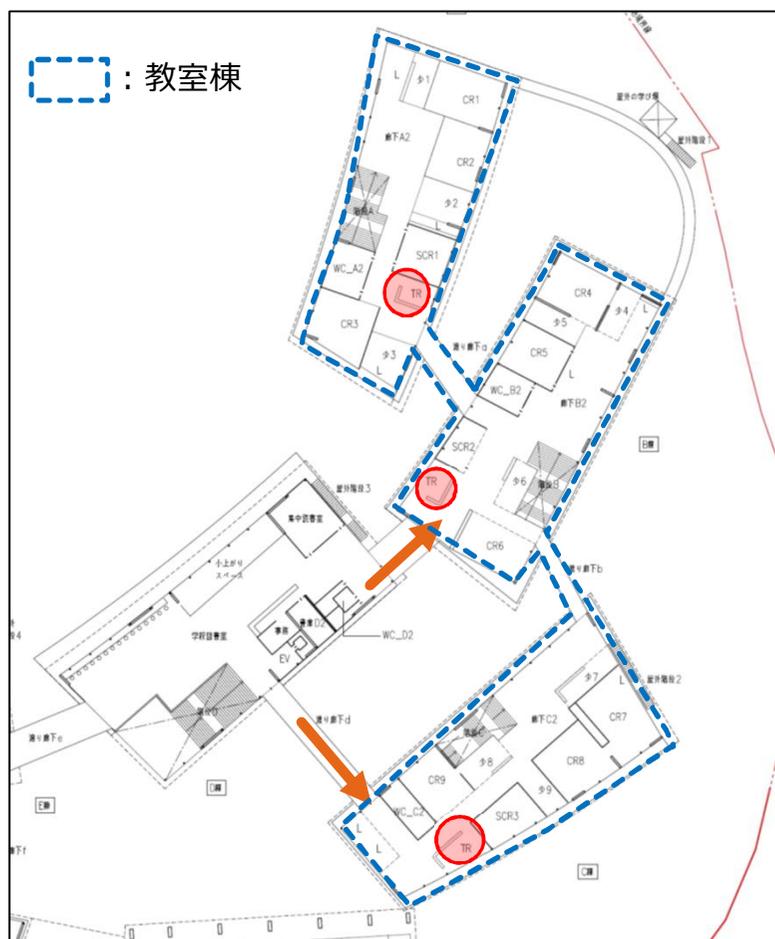


# ★死角箇所への防犯カメラの設置



- ・「人の目」が届きづらい校舎裏などには防犯カメラを設置します。

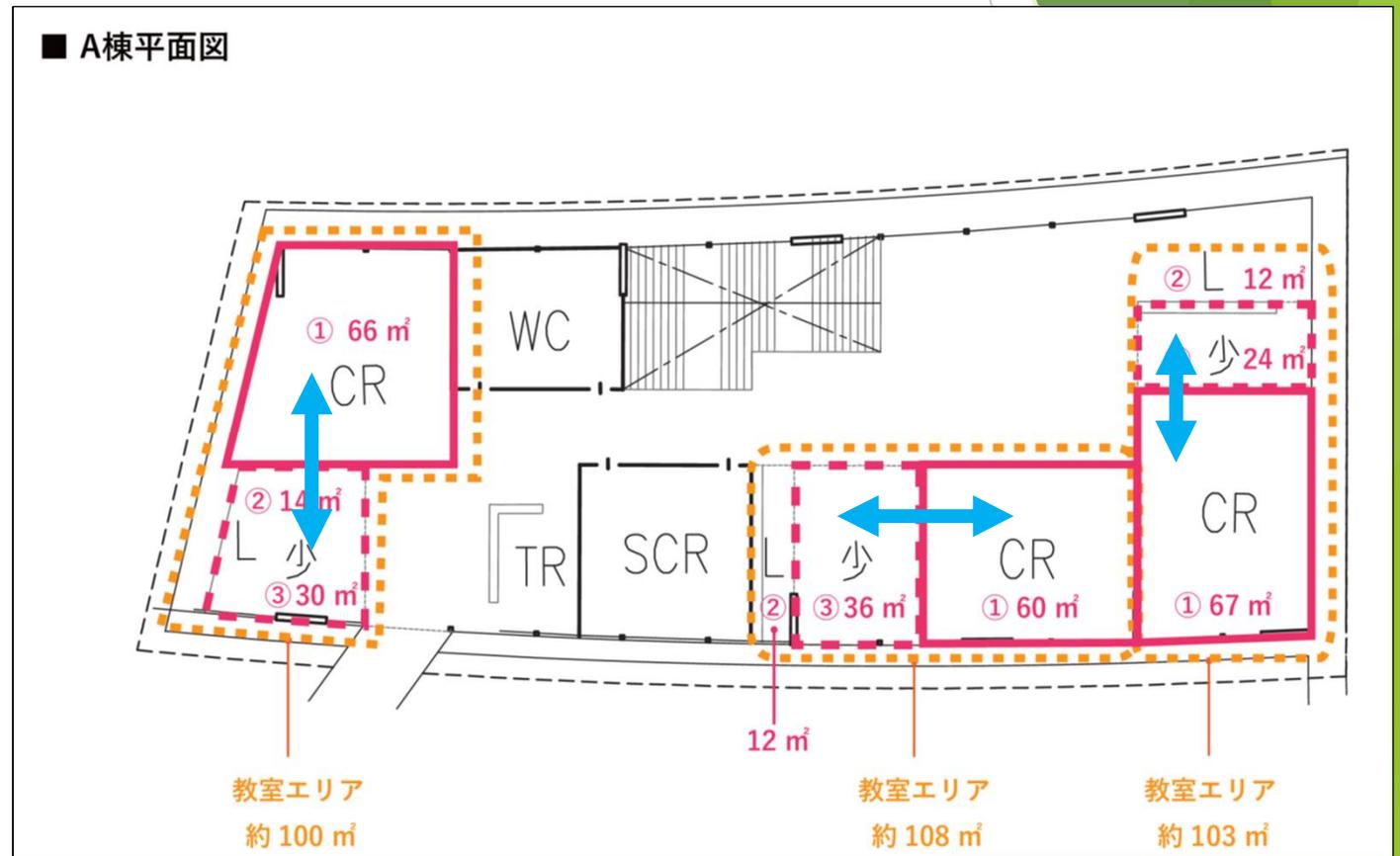
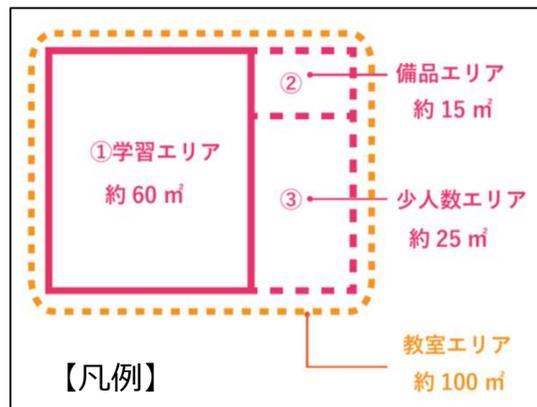
## ★教室棟へのティーチャールームの設置



- ・万が一、教室棟へ不審者が侵入した場合、教職員が早期に対応できるように、教室棟の入口にティーチャールームを配置します。

# ★教室からの避難経路を複数確保

- ・学習エリアと少人数エリアを隣接させることで、廊下以外への避難経路を確保。



## 6. 新設校の防犯対策（ソフト面）

防犯性をより高めるためのソフト対策

### 対策

- ① 年間通した命を守る行動についての教育の実践
- ② 様々な教育活動での地域人材活用による地域と学校の連携強化
- ③ 教職員研修による防犯体制の強化及び意識の高揚
- ④ 不審者対応訓練による児童生徒の意識の高揚
- ⑤ ★青色防犯パトロール隊との連携（警察署との連携も検討中）
- ⑥ 護身用具の配備

★印：桜島新設校における特徴的な防犯対策

## (補足) 顔認証装置について

顔認証装置の利用について様々な面から検証を行いました。

(メリット)

- ・防犯性が高い

(デメリット)

- ・児童生徒が通過するたびに認証が必要
- ・大勢が通る際、ゲート前に人が滞留
- ・個人情報の管理の難しさ
- ・給食コンテナの運搬が困難
- ・コストが高い（設置：1800万円、運営：170万円/年 + α）

※ゲートイメージ図



防犯性の高さは期待できるが、  
使い勝手・コスト等を考慮すると利用は難しいと考えています。